

I 平成 29 年度事業計画書

戦後開拓事業により中山間地域等の劣悪な土地に入植した開拓者は、山林原野等を手作業などで開墾し、農業経営を積極的に推進することで、国民への安全・安心な食料供給の一翼を担ってきました。この開拓営農は、二世、三世に引き継がれ、積極的に展開されているところであります。

我が国経済は、昨年に続き雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかに回復しています。ただし、アメリカの金利引き上げの影響や中国をはじめとするアジア新興諸国の先行きの不確実性等の影響などにより、我が国経済への大きな影響が懸念されます。

最近の農畜産業を取り巻く情勢は、酪農家・和牛繁殖農家の減少が続く中で、初任牛・肥育素牛価格の上昇や、生産資材価格・配合飼料価格の高止まりなどにより経営は依然として厳しい状況にあります。

また、環太平洋連携協定（ＴＰＰ）については、我が国では昨年の臨時国会において承認されたところでありますが、今年１月に新たに就任したアメリカのトランプ大統領がＴＰＰからの離脱を各国へ通知したことにより発効が見込めない状況となりました。しかし、アメリカとはＴＰＰよりさらに深掘りとなる２国間ＦＴＡ交渉へ移行する懸念や、さらにＥＵとのＥＰＡ交渉が合意に進展した場合、我が国畜産農家への大きな影響が危惧され、より注視していく必要があります。

このような中であって、中山間地域など厳しい立地条件の下で畜産・酪農、高冷地野菜、果樹等の分野で意欲的に取り組んでいる開拓農家をはじめとする農業者への支援策が必要であり、開拓営農の持続的発展により国民・消費者に安全・安心な食料供給を図ることが、重要な課題となっています。

当協会においては、これまでの事業実施状況及び成果を考慮し、運営の簡素化・合理化を徹底するとともに、開拓営農振興事業については新たに畜産・酪農の生産基盤を強化する事業を追加し、各種事業を着実に実施する計画を立て、開拓農家の持続的発展に資することとします。

また、当協会の開拓者支援事業をはじめとする事業を円滑に実施し、所期の目的を上げるためには、会員及び関係機関、団体の協力の下に、取り進めていく必要があります。本年度も関係団体との一層緊密な連携をとりながら事業を展開することとします。

以上の趣旨により、本年度の事業計画を次のとおり定めます。

○ 開拓者支援事業（公益目的事業（公1））

開拓者支援事業は、開拓者の営農の振興を図り、国民への食料供給を推進するため、開拓者の営農支援をすることを目的とした事業で、研修事業、開拓情報事業、開拓営農振興事業及び調査・研究事業により構成しています。

1 研修事業

研修事業は、開拓者及び開拓後継者の資質の向上・研鑽と、相互交流を図ることにより、農業経営の発展及び開拓営農を一層推進し、国民生活に不可欠な食料を安定的に供給するため、次により研修事業を実施します。

(1) 講演会

開拓営農に取り組んでいる開拓者や開拓者以外の農家などの資質の向上や営農の推進を図るため、会員が所在する都道府県において実施することとします。

また、講演会の開催概要をホームページ（HP）に掲載するとともに、参加者の募集をHP、開拓情報等で行うこととします。

開催場所：関東 開催時期：平成29年10～11月（予定）

(2) 海外研修

EUやアジア諸国等外国とのEPA・FTA交渉が進行する状況下、国産牛肉の輸出の動きなど海外との関わりが多くなっていることから、開拓後継者、開拓組織の担当者等が海外の実態等を見聞することにより国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため海外研修を実施します。

また、海外研修の開催概要をHPに掲載するとともに、参加者の募集をHP、開拓情報等で行うこととします。

研修国：EU地域から選定

実施時期：平成29年9月中旬（予定）

(3) 全国開拓青年・女性研修会

我が国農業・開拓営農の担い手である開拓後継者として全国で開拓営農に取り組んでいる青年・女性の資質向上と相互の連携強化を図るため、全国開拓青年・女性研修会を全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共催により実施します。

なお、全国開拓青年・女性研修会は、全国開拓代表者大会と併せて実施します。

開催場所：東京 開催日：平成29年11月14日（予定）

(4) 全国開拓代表者大会

開拓営農に取り組んでいる開拓者の資質向上と相互の連携強化を図るため、全国開拓代表者大会を全国開拓青年・女性研修会と併せて全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会との共催により実施します。

なお、参加者の募集は、会員及び開拓情報を通じて行うこととします。

開催場所：東京　開催日：平成 29 年 11 月 14 日（予定）

2 開拓情報事業

開拓農家及び開拓組織の相互の連携維持・強化を進めるとともに、開拓営農のより一層の振興のため、全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会との共同編集により「開拓情報」を毎月、定期的に発行し、購読を希望する者に無償で提供するとともに、HPに掲載します。

発行に当たっては、国際情勢、農政の動き、農畜産の技術及び経営に関する情報の提供、優れた開拓農家、開拓地の紹介及び中央・地方の組織の活動状況の紹介等幅広い情報の提供をするなど紙面の充実に努めることとします。

3 開拓営農振興事業

開拓者の農業経営の発展と開拓営農の一層の推進及び国民生活に不可欠な食料の安定供給のためには、開拓営農に取り組んでいる開拓者の農業経営の持続的発展・強化を図る必要があることから、次により開拓営農振興事業を実施します。

(1) 開拓関係諸行事

会員が当協会の示す開拓関係諸行事事業から選定して実施する開拓営農支援対策及び開拓営農推進対策に助成します。

(2) ブロック開拓関係諸行事

ブロック協議会が当協会の示すブロック開拓関係諸行事事業から選定して実施する研修会事業及び先進地視察事業等に助成します。

(3) 表彰

開拓者が参加する共進会、品評会等において優秀な成績を収めた者に対して、開催者の申請により当協会の会長の表彰状のほか副賞を贈呈します。

(4) 開拓畜産・酪農生産基盤強化（新規）

畜産・酪農経営を行う開拓者が、生産基盤の維持・拡大を図るため、家畜等を生産・導入する場合に、これらの費用に対し助成します。

4 調査・研究事業

戦後開拓について多くの人に理解してもらうため、次により資料の収集・整理を行い情報の提供をするとともに、開拓農家の概要を発行します。

(1) 戦後開拓に関する資料の一般公開

戦後の幾多の苦難を克服し、輝かしい成果を上げるに至った開拓農家及び開拓組織の歩みに関する刊行物や資料を収集、整理・保管し、戦後開拓・開拓営農の理解を深める情報として一般に公開します。

また、今年度も会員の協力を得て、開拓の歴史、開拓の精神を記録する開拓記念碑の調査を行います。

(2) 開拓農家の概要の発行

2015年農林業センサスの農林業経営体調査・農山村地域調査の開拓のデータの組み替え集計をもとに、「開拓農家の概要」を印刷・発行するとともに、希望者に無償配布し、概要をHP、開拓情報に掲載するなど、一般に公開します。

参考一事業体系図

